国立市会計年度任用職員の報酬、勤務条件等に関する条例の一部を改正する条例案

上記の議案を提出する。

令和 7 年 2 月 21 日

提出者 国立市長 濱 崎 真 也

(説明) 会計年度任用職員の報酬単価の改定の適用日等、報酬等の支給について、常勤の一般職の職員に準じて取り扱うこととするため、条例の一部を改正するものである。

国立市会計年度任用職員の報酬、勤務条件等に関する条例の一部を改正する条例案

国立市会計年度任用職員の報酬、勤務条件等に関する条例（令和元年 9 月国立市条例第 12 号）の一部を次のように改正する。

第 12 条の 2 の次に次の 1 条を加える。

（報酬等の支給に関しこの条例に定めがない事項）

第 12 条の 3 第 4 条から前条までに定めるもののほか、会計年度任用職員の報酬、期末手当及び勤勉手当の支給については、常勤の一般職の職員の例による。

付 則

この条例は、公布の日から施行する。